






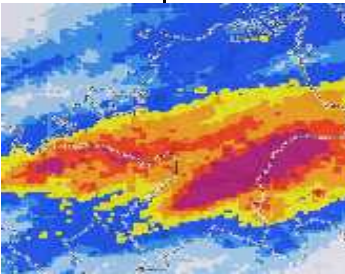
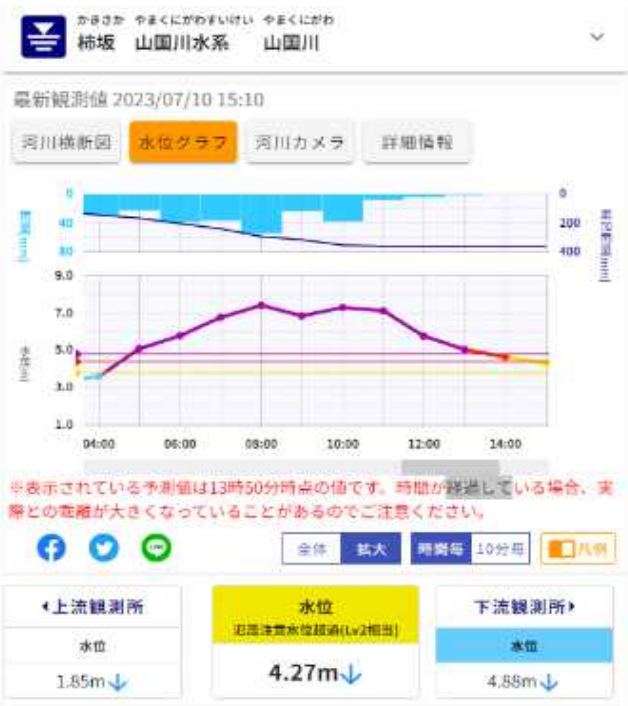


防災エキスパート(災害時応援)活動報告書

所 属 支 部	筑後川支部	氏 名	塚本 剛好
活 動 地 区	筑後川河川事務所、片ノ瀬出張所、諸富出張所、吉井出張所、日田出張所		
活動年月日	令和 5 年 7 月 10 日～24日		
活 動 内 容	<p>●7月10日</p> <p>①事務所=8名(塚本、後藤、松本、杉山、坂元、坂山、勝木、荒木) 片ノ瀬(出)=3名(山本、鹿毛、一宮)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務所、片ノ瀬(出)では、佐田川7K200付近の「相窪井堰」左右岸護岸崩壊箇所の応急復旧工法の助言。 <ul style="list-style-type: none"> ・左岸:堰下流護岸下流端から約7mが洗掘し、堤体に接近している。 ・右岸:堰下流護岸裏側(高水敷)が洗掘。堤防防護ラインに余裕有り。 ・助言:左岸は袋詰め根固め、右岸は碎石等で埋め戻しを施工する。 <p>②諸富(出)=1名(吉村)、日田(出)=1名(加藤)・・・巡視にあたっての助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤漏水が懸念される為、洪水時・水位低下後、背後地の噴砂確認を行うこと。 ・洪水の水位低下時の引き落としにより、法面欠損の恐れが有り注意すること。 <p>●7月13日 片ノ瀬(出)=4名(松本、山本、鹿毛、一宮)</p> <p>7月14日 片ノ瀬(出)=1名(後藤)</p> <p>③巨瀬川9k050右岸護岸被災箇所の緊急災害復旧状況確認と対策工法助言</p> <p>●7月24日</p> <p>吉井(出)=3名(後藤、松本、坂元)</p> <p>④筑後川53k000左岸護岸被災箇所の確認と対策工法の助言</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当面の対策(出水期間中)への助言 <ul style="list-style-type: none"> ・袋詰め根固工で護岸被災箇所への応急工事の施工 2. 災害復旧方法への助言 <ul style="list-style-type: none"> ・下部の部分的被災で全体が死に体とは?、災害復旧の範囲、仮設工。 		
活動写真等	 <p>事務所防災室</p>  <p>片ノ瀬出張所</p>  <p>巨瀬川 9 / 0 5 右岸</p>  <p>筑後川 5 3 / 0 左岸</p>		

所属地区	大分支部	氏名	篠原 昌秀
活動地区	大分北部 山国川河川事務所管内		
活動年月日	令和 5 年 7 月10 日 6:50 ~ 17:00		
活動内容	<p>令和5年7月10日梅雨前線による大雨による事務所支援活動</p> <p>対応者：事務所 首藤 ：出張所 篠原 深町</p> <p>支援内容 （支援依頼及び自主参集） 事務所・出張所業務全般支援 助言等を実施</p> <p>(写真は、出張所内での洪水時巡視結果確認状況と 10k400左岸河岸崩壊箇所現地確認と対応策助言)</p>		
活動写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		

防災エキスパート(災害時応援)活動報告書

所属支部	本部	氏名	大野 誠
活動地区	九州地方整備局 災害対策本部		
活動年月日	令和5年7月18日～令和5年7月24日		
活動内容	<p>九州地方整備局防災情報共有会議に出席し、久留米市、東峰村に派遣されているTEC隊に対して助言。</p> <hr/> <p>●7/18(火)16:30 (足立会長・柳田 総括支援班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時期は熱中症が心配。現場作業は班長、隊員皆で確認しながら安全行動。健康管理に留意。 ・TEC支援の仕組みを今年度から構築した。この共有会議の場で本部への相談事項に対してアドバイスする。 <hr/> <p>●7/20(木)10:00 (大野 河川支援班長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災箇所の原因について、現地を見た範囲で報告書に記載して久留米市の復旧工法に生かして頂きたい。 ・上流側は河道も狭く水路を河川指定していると思われる。果樹園が多く存在し、揚水のため角落としにより水位を上げ利用していないか？被災時、堰板が設置のままだと容易に溢水し、被災原因となることから、市に対して建設・農政サイドへ管理について確認するようアドバイスして頂きたい。 ・大規模土石流災害(県対応)やTEC道路班の調査で、立入り困難箇所について、警報装置(振動計・ワイヤーセンサー・BOL孔内傾斜計等)の設置を市に対して助言して頂き、周辺住民の避難や復旧工事の安全対策に生かして頂きたい。 <hr/> <p>●7/21(金)10:00 (野村 河川支援副班長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの調査範囲は、崩壊斜面のみでなく、崩壊地周辺の亀裂の有無や立木の変状等も含めて調査して頂きたい。 ・台風の影響等が考えられるため、全体調査が終わるのを待たずに、適宜調査結果を市へ報告して頂きたい。 ・再度災害防止の観点から改良復旧にするか否かについては、災害復旧専門家(防災協会)へ相談する等、市へ伝えて頂きたい。 <hr/> <p>●7/24(月)10:00 (柳田 総括支援班・吉村 河川支援班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果には、再度災害防止の観点から痕跡(水位・流行・要因)を報告書にしっかり記載して頂き、久留米市・東峰村に伝えてほしい。 ・H29九州北部豪雨の東峰村の被災時には、県道52号の啓開作業、被災調査を県に代わって行った。今回、県より4名ほど村の支援に入っているので情報交換しながら役割分担を明確にしておく必要がある。 ・長期に渡る派遣であり、班員はできるだけ早く帰宅できるよう配慮してほしい。 		
活動写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>7/18(足立・柳田)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>7/20(大野)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>7/21(野村)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>7/24(柳田・吉村)</p> </div> </div>		